



第9期計画の目標

■事業目標■

① 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進

項目	単位	実績見込			
		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
運動教室の参加者数	人	340	410	480	550
高齢者の通いの場の実施箇所数	箇所	85	90	93	96
高齢者の通いの場の参加率	%	4.9	5.0	5.1	5.2
生活支援サポーター活動	登録人数(人)	80	85	90	95
	活動回数(回)	550	600	650	700

② 一人ひとりの意思を尊重した生活の実現

項目	単位	実績見込			
		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
認知症初期集中支援チーム会議での検討数	件数	23	24	24	24
認知症の人の地域ケア会議等での検討数	件数	16	20	20	20

③ 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営

項目	単位	実績見込			
		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
介護分野資格取得支援事業利用者数	人	3	5	5	5

■成果目標■

1

主観的健康観

(「健康とくらしの調査」で健康状態が「とてもよい」・「まあよい」と答えた人の割合)

第8期計画の現状値

83.5%

第9期計画の目標値

85.0%

2

通いの場への参加率

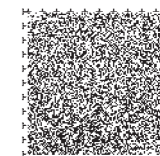
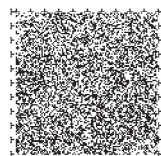
(高齢者の通いの場において、週1回以上通っている人の参加率)

第8期計画の現状値

4.9%

第9期計画の目標値

5.2%



第9期西脇市高齢者安心プラン概要版 西脇市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

令和6(2024)年度～令和8(2026)年度

基本理念

高齢者が、住みたい地域でともに支え合いながら、
自立して、自分らしく安心して暮らしていける社会の実現

施策展開の基本方向

① 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進

- 健康寿命の延伸を図り、効果的に介護予防を進めるためには、「フレイル」の状態にある高齢者等を早期に把握し、適切な介入により要介護状態になることを防ぐことが重要です。
- 住民主体の通いの場や運動教室の参加者を増やすとともに、これまでの疾病予防・重症化防止における個別的な対応のみならず、若年層も含めた幅広い年代に対する健康づくり事業を推進します。
- 高齢者が地域社会を支える担い手として活躍し、社会的な役割を持つことによって生きがいを感じることができる仕組みを充実していきます。

② 地域における包括的な支援体制の推進

- 高齢者が安心して住みたい地域で暮らすことができるよう、地域包括支援センターを地域支援のための体制の中核に据え、地域共生社会の実現に向けて関係機関と連携を図りながら高齢者の自立支援に向けた施策を推進します。
- ひとり暮らし高齢者や認知症の人、その家族・介護者を地域全体で見守り支えるとともに、在宅での看取りの啓発・支援体制の強化を図るために、医療と介護の連携推進に努めます。
- 生活の基盤となる住まいの確保や生活環境の改善・向上に努めるとともに、災害発生時の要援護者対策や感染拡大防止に向けた取組を推進し、高齢者が自宅や施設などで安心して生活を維持・継続できるよう、関係機関や事業者等との連携を強化します。

③ 一人ひとりの意思を尊重した生活の実現

- 認知症の人であっても尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症に関する正しい知識の普及・理解の促進、認知症予防への取組、認知症の人の意向を尊重したサービス提供、社会参加支援等を推進します。
- 高齢者の権利や尊厳を守り、住みたい地域で継続して暮らすための支援体制を推進します。

④ 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営

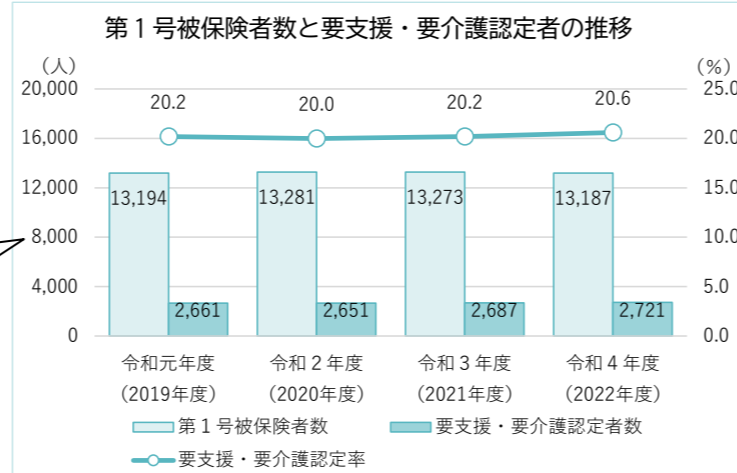
- 介護保険制度を今後も持続可能な制度としていくために、市民の理解と協力が得られるよう普及・啓発・情報提供に努めます。
- これまで以上に介護給付適正化事業に積極的に取り組み、真に必要な過不足のない介護サービスの提供体制の整備を図り、介護保険財政の一層の健全性の確保と制度の安定運営に努めるとともに、介護人材の確保と定着、育成に向けた取組を事業者と連携し総合的に推進します。

【本市の高齢者を取り巻く現状・課題、対応の方向性】

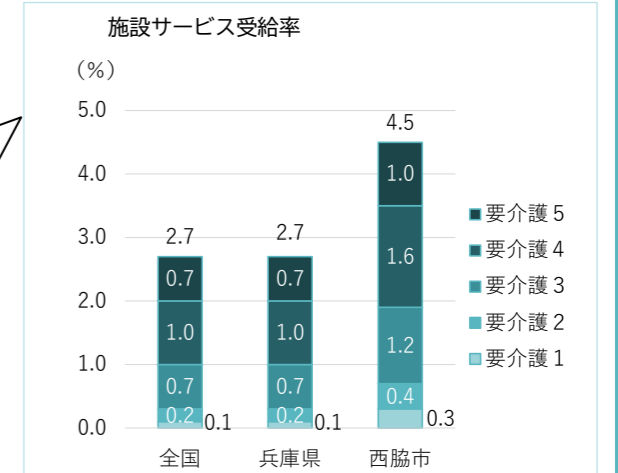
西脇市の現状

要介護認定率・施設サービスの受給率が高い

【要介護認定の状況】
要介護認定率は、高齢化に伴い、年々増加しています。



【施設サービス受給率の状況】
(令和5年3月実績)
・全国平均、兵庫県平均より高い。
・兵庫県内で5番目に高い。
・北播磨地域で一番高い。



現状からみえる課題

◇要介護状態に至らないための健康に資する施策の必要性

- ・後期高齢者の増加に伴い要介護認定者が増加
- ・介護予防のための通いの場への参加は低調
- ・要介護認定を受けていない約3人に1人は認知機能低下リスク、約4人に1人はうつリスクを抱えている。
- ・後期高齢者の外来医療費は、同じ規模の市町より高い。また、入院医療費は骨折が他の疾患に比べて高く、要介護認定のある後期高齢者は糖尿病の有病率が高い。

◇要介護認定の平準化及び適正化に資する取組の必要性

- ・調整済み認定率は、全国と同水準で要支援1の割合が低く、要介護1の割合が高い。

◇在宅介護の限界点の向上の必要性

- ・ひとり暮らし高齢者が増加
- ・介護サービスの種別では、特に施設サービスの受給率が高い。
- ・要介護者も介護者も高齢化している。
- ・要介護3以上の人は、施設入所を検討する割合が高い。
- ・要介護認定者が今後希望する生活の場所は、53.9%が「自宅」で最も多いものの第8期計画策定時より17.3ポイント減少。また、「介護保険施設」が25.2%で第8期計画策定時より10.8ポイント増加
- ・介護者が、不安を感じる介護は、排せつの世話と認知症状への対応が多い。
- ・ケアマネジャーは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「認知症対応型通所介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「訪問介護」、「小規模多機能型居宅介護」のサービスが不足していると感じている。
- ・複合化・複雑化した支援ニーズを持つ世帯が増加
- ・将来的に介護人材が不足する。

◇高齢者の地域での生活支援の必要性

- ・ケアマネジャーは、「ごみ出し支援」「通院介助」「外出支援」を希望する人が多いと感じている。

対応策

◇健康づくり・疾病対策の強化
◇フレイル状態の早期発見と予防対策の強化

◇要介護認定の適正化の取組
◇介護予防、重度化防止の推進

◇地域ケア会議・包括的な支援体制の強化
◇利用者の意思を尊重したケアマネジメントの支援
◇在宅介護が継続できるサービス基盤の整備
◇認知症の早期発見・早期対応
◇終末期の医療・介護の体制づくり

◇ニーズに対応した生活支援の充実
◇住民主体の支え合いの仕組みづくり

取組施策

1. 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進

- (1)健康づくりの推進
- (2)生きがい対策の推進
- (3)社会参加・交流の促進

【拡充】・介護予防啓発事業
・生活支援サポーター養成講座及び活動支援事業

2. 地域における包括的な支援体制の推進

- (1)包括的な地域ケア体制の推進
- (2)在宅生活を支えるサービスの充実
- (3)在宅医療・介護連携の推進
- (4)高齢者の安心な住まいの確保
- (5)安全・安心なまちづくり

【拡充】・重層的支援体制整備事業
・生活支援体制整備事業
【新規】・ヤングケアラー・若者ケアラーへの支援

3. 一人ひとりの意思を尊重した生活の実現

- (1)認知症施策の推進
- (2)高齢者の尊厳への配慮と権利擁護の推進

【新規】・認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

4. 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営

- (1)介護保険サービスの基盤整備
- (2)介護保険制度の円滑な運営
- (3)介護人材の確保及び資質の向上

【拡充】・地域密着型サービスの充実
・介護分野資格取得支援事業
・将来の介護職の担い手の発掘
【新規】・業務効率化に向けた支援策の検討